

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和 5年 2月21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	南生建設株式会社
所在地	〒892-0848 鹿児島県鹿児島市平之町8-13
代表者役職・氏名	代表取締役社長 川畑 智洋
担当者連絡先	電話：099-223-8388 (担当：若松) メール：wakamatsu@nansay.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.nansay.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和23年に創業した総合建設会社であり、起重機船を保有し鹿児島県の港湾を中心として海上土木工事、浚渫・埋立工事、陸上土木工事、建築工事の請負事業を実施している。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	長時間労働の是正に向け、労働生産性の改善のための有給休暇の取得、時間外労働時間の短縮によるワークライフバランスを推進する。	・年平均有給休暇取得率 【現状】 58% 【目標】 65%
□環境 ✓社会 ✓経済	就職促進・担い手確保のための地域雇用を推進する。	・毎年1名以上の新規雇用を継続
✓環境 ✓社会 □経済	ISO14001（環境マネジメントシステム）に基づき、環境に配慮した社会貢献活動に取り組む。	・毎年12回以上の地域貢献活動への参加を維持する。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・差別やハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記しており、相談窓口を設置し、ハラスメント防止等の社員教育、研修も実施している。 ・子育てサポート企業「くるみん」(2019年)を取得し、仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則に「ハラスメント防止の禁止に関する規程」を明記し、違反した場合制裁処分の規定を設けている。 ・相談窓口を設置し、ハラスメント禁止の社員教育、研修も実施している。 ・執行役員他で組織する「働き方改革委員会」を年4回開催し、ハラスメント発生の有無等監視活動を行っている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・長時間労働を是正するための労働生産性の改善、労働時間、勤務状況の管理等に取り組んでいる。 ・毎週水曜日をノー残業デーとして取り組んでいる。									8.5 8.8								
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・コミュニケーションの充実や新規入場者教育にて、人権侵害がないよう取り組んでいる。				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・ISO45001認証を取得し運用している。 ・安全衛生委員会を月1回、安全労務部主催で月1回の安全衛生パトロールを実施し、労働環境の整備と労働災害防止の安全教育に取り組んでいる。			3						8								
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・メンタルヘルスに関する研修会を実施している。 ・ストレスチェックを年1回実施し、相談等のサポート体制を取っている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・子育てサポート企業「くるみん」(2019年)の認定を取得している。 ・女性の活躍を推進する「えるぼし(3つ星)」の認定を取得している。 ・定年後継続雇用によるシニアの活躍推進や障害者雇用による多様な人材確保に取り組んでいる。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・新入社員研修や資格取得に向けた講習会など、能力開発、自己啓発のための研修会、講習会等へ積極的に参加させている。 ・資格取得費用の一部補助を支給している。				4	5.5				8	9							
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・同一労働同一賃金等の原則に沿って、法令遵守し対応している。					5.5				8.5		10.2 10.3						

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康経営優良法人2022 (ブライツ500) 認定企業として、社員の健康管理のため、人間ドックや予防接種の補助など各種助成制度の拡充など健康づくり活動を推進している。			3					8									
11	環境 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R (リデュース、リユース、リサイクル) の推進に取り組んでいる	・ISO14001の認証を取得し、3Rの推進に取り組んでいる。 ・建設副産物の発生の抑制、再利用の促進、リサイクルの推進、適正処理の取り組みを行っている。 ・建設廃棄物、事業所廃棄物の発生抑制・削減、ペーパーレス化や再生紙利用等によりゴミ排出量の削減に取り組んでいる									11.6	12.4 12.5		14.1					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・社用車の環境対策車 (PHV, EV車) への入替によるCO2排出量削減に取り組んでいる。 事業所別に電気使用量のチェックを行うとともに、エアコン設定温度等の空調管理、こまめな電源消灯により節電に取り組んでいる。							7.3				13						
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・排出ガス対策型機械の使用やアイドリングストップの励行等による温室効果ガスの削減に取り組んでいる。							7.2 7.3			12.4	13.3						
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・法令に基づき、適切な使用の管理を実施している。			3.9			6.3			11.6	12.4							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・事業活動による環境汚染 (CO2排出、騒音、振動発生等) の予防と低減、プラスチックごみの排出抑制など環境保護に努めている。 ・汚濁防止フェンスの設置や油処理のための資材を常備している。						6.6							15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・本社のトイレ等の中水は地下水を利用している。 ・雨水をタンクに貯留し雑用水として活用している ・節水に心がけるよう社員に周知している。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001の認証を取得し、適切に管理をしている。			3.9			6	7			12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・自社ホームページ、業界新聞等を通じてボランティア活動等の社会貢献活動の情報開示に努めている。										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2				13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				

